

臼田地区新小学校建設
基本計画に向けた提言

平成29年2月17日

臼田地区新小学校づくりワークショップ

臼田地区新小学校建設基本計画に向けた提言

<目 次>

はじめに	1
1 学校運営について	3
(1) 子どもたちのコミュニケーション	3
(2) 安全	3
(3) 自然学習	3
(4) 運動・体力づくり	4
(5) 地域とのつながり・連携	4
(6) 統合に向けた取り組み	5
2 学校施設について	6
(1) 安全	6
(2) 自然	7
(3) 設備（校舎）	8
(4) 設備（屋外）*体育館含む	9
(5) 地域開放	10
(6) 関連施設 *給食センター含む	10
(7) 臼田らしさ	11
むすびに	13

はじめに

平成28年3月、佐久市教育委員会は、臼田地区新小学校の建設場所として、「コスモホールの西側」を決定し、その後、「臼田地区新小学校建設基本構想」を策定しました。

この「基本構想」に基づいて学校施設の基本的な考え方を示す「基本計画」を検討するため、広く市民が参加する学校づくりワークショップが企画され、教育委員会で参加者を公募したところ、69名のメンバーが登録しました。

今回、臼田地区新小学校建設基本構想を受け、「学校づくり」ワークショップ参加者は、「学校運営について」、「学校施設について」の2つの課題が新小学校には最も重要と考え、「学校づくりは地域づくり」との理念も踏まえ、新小学校建設基本計画への提言をまとめました。

このワークショップは、平成28年9月から平成29年2月までに計6回開催され、大きく分けて2つのテーマ「学校運営について」と「学校施設について」話し合ってきました。(表1参照)

これらについて、参加者自らも情報提供を行いながら検討した結果、臼田地区新小学校づくりワークショップとして、「基本計画」への提言を次のようにまとめました。

【(注釈) この提言の語尾は、次のような解釈で表現しています。】

最優先「・・・すべきである」 優先「・・・必要である」 要望「・・・望ましい」

臼田地区新小学校建設基本計画に向けた「学校づくり」ワークショップの提言

表1 ワークショップの開催概要

回	月・日	場所	参加 人数 (人)	概要
1	H28. 9. 22	コスモホール	38	ワークショップの趣旨説明 話し合うテーマについて
2	H28. 10. 16	あいとぴあ臼田	28	テーマ1「学校運営について」 情報提供、班の提言案づくり
3	H28. 11. 13	あいとぴあ臼田	24	テーマ1「学校運営について」 班の提言案まとめ、発表、相互評価
4	H28. 12. 10	あいとぴあ臼田	23	テーマ2「学校施設について」 情報提供、班の提言案づくり
5	H29. 1. 15	コスモホール	24	テーマ2「学校施設について」 班の提言案まとめ、発表、相互評価
6	H29. 2. 12	あいとぴあ臼田	19	「基本計画」への提言のまとめ

1 「学校運営について」

学校運営については、「子どもたちのコミュニケーション」、「安全」、「自然学習」、「運動・体力づくり」、「地域とのつながり・連携」、「統合に向けた取り組み」の6項目について話し合いました。

以下のようにまとめ提言します。

(1) 「子どもたちのコミュニケーション」

① 異学年の児童が交流

(ア) 異学年児童が交流するため、上級生がリーダーになり、縦割り班等による登下校、清掃、読み聞かせ、花壇づくり、農業等を行うべきである。

(イ) 環境の良さを最大限に生かし、全校児童の交流会としてお花見給食等を行うことが必要である。

② 児童、保護者、先生との交流

(ア) 児童だけでなく、親同士の交流も大切であるため、親子合唱や運動会での親子競技を行うことが必要である。

(イ) クラスの児童数が多くなることが予想されるため、子どもと先生との触れ合いの時間を増やすことが必要である。

(2) 「安全」

① 避難訓練

(ア) 地震・水害・火災・不審者の侵入等を想定した避難訓練を定期的
に実施すべきである。

(3) 「自然学習」

① スタードーム等天体観測施設の活用

(ア) 「星の町臼田」の児童として天文学に関する興味や関心を持ってもらうこと。また、広い視野、大きな夢を持ってもらうために、スタードーム等の天体観測施設を活用した学習をすることが必要である。

② 自然との触れ合い

(ア) 地域の自然・環境に対する興味・関心を育むため、地域の川（片貝川、千曲川等）での遊びをとり入れることが必要である。

(イ) 自然学習に活用するため、校地内にビオトープを設置することが必要である。

③ 農業学習

- (ア) 地域の産業、就労の大切さ、育てる大切さを学ぶとともに、食育、異学年の児童とのコミュニケーション強化等のため、学校周辺の農地を利用して農業体験、収穫祭等を行うことが必要である。
 - (イ) 佐久平総合技術高等学校臼田キャンパスの生徒や先生との交流を含めて農業学習を実施することが望ましい。
 - ④ 動物の飼育・触れ合い
 - (ア) 感受性を高めるために、動物（ニワトリやウサギ等）を飼育し、命の大切さを学ぶことが望ましい。
 - ⑤ 学校林の設置
 - (ア) 林業体験等を通して身近な自然を学び親しむため、学校林を設置することが望ましい。
- (4) 「運動・体力づくり」
- ① 特色ある体力づくり
 - (ア) バス通学となる児童が増えることから、体力面を強化するために、統合前の4校の伝統行事を継承して、田口峠マラソン、田んぼリンクのスケート、平の運動公園を利用したマラソン大会等を開催したり、運動系クラブを充実させることが必要である。
- (5) 「地域とのつながり・連携」
- ① 見守り隊・安心の家
 - (ア) 児童の登下校時の安全確保と、地域の方とのふれあいを大切にするため、地域の方の協力により、見守り隊・安心の家等の組織づくりをするべきである。
 - ② 地域農業者との連携
 - (ア) 地域の代表的な農業（米作り、りんご作り等）を体験し、理解を深めるために、地域農業者との連携を行うことが必要である。
 - ③ 地域の方のボランティアによる活動
 - (ア) 地域の方との交流を通して、「開かれた学校」、「地域の学校」、「地域振興」、「コミュニケーション能力の向上」を実現するために、地域の方を講師とした学習を行う等、地域のボランティアの方と交流することが必要である。
 - (イ) 地域の方とのふれあいとして読み聞かせを行ったり、地域の方にも図書の出し入れを行うことが望ましい。
 - ④ 地域の伝統・文化・行事
 - (ア) 地域とのつながりを継続させるとともに、臼田地域の知識・地域

間協力の意識を高めるために、現在行われている行事を継続することが望ましい。

(イ) 地域に誇りを持つ児童を育成するため、地域の文化財の見学や、伝統行事に参加することが望ましい。

(ウ) 地域密着型の学校にするため、また地域との交流を通して地域の一員としての自覚を高めるために、地元の祭りに参加することが望ましい。

⑤ 小学校と地域との交流

(ア) これまでそれぞれの地区で行ってきた活動（栽培活動、クラブ活動等の指導）を継承しつつ、新たな行事（しめ縄づくり、フラワーアレンジメント、料理教室等）を行うため、地域の方に講師になってもらうことが望ましい。

(イ) 地域ぐるみで教育に取り組むため、放課後に体育館や校庭を開放し、地域ボランティアの協力のもと、クラブ活動等を行うことが望ましい。

(ウ) 小学校以外の年上の人との関わり方や、高度な技術を学ぶため、佐久平総合技術高等学校臼田キャンパスの生徒との共同作業の交流を行うことが望ましい。

⑥ ボランティアへの参加（体験学習）

(ア) 児童の優しい心を育むとともに、責任感、健全な身体、人権感覚を身につけるため、病院、老人ホーム、障がい者施設等で体験学習することが望ましい。

⑦ コスモホールの利用

(ア) 広報誌等を利用して地域の方を招待し、歌声や演奏によるホールの臨場感を楽しんでもらうため、音楽会はコスモホールで開催することが望ましい。

⑧ イベントの開催

(ア) 企画力や責任感等を養うため、児童がメインとなる文化祭やバザーを開催することが望ましい。

(イ) 地域の方と交流するため、音楽会等は住民も観覧できるほか、児童と住民と一緒に合唱や合奏ができるようにすることが望ましい。

⑨ 学校施設の開放

(ア) 地域住民と交流するために、体育館のほか、プールも開放することが望ましい。

(6) 「統合に向けた取り組み」

- ① 開校前から交流
 - (ア) 統合への不安を少しでも軽減するため、また統合を実感するために、児童だけでなく先生、保護者も含めて各学校の特色ある行事、スポーツ大会、社会科見学、遠足、授業等の交流を行うべきである。
- ② 統合前の4校の児童が交流
 - (ア) 開校後、児童がスムーズに学校に慣れるように、統合前の4校間で交流会を重ねるべきである。
- ③ 豊富な図書を利用
 - (ア) 登下校の際、常に4校から持ち寄った多くの図書に触れ、本が好きな児童を増やすために、学校図書館司書補を常勤化するなど、児童が本を借りやすい環境をつくることが望ましい。

2 「学校施設について」

学校施設については、「安全」、「自然」、「設備（校舎）」、「設備（屋外）」、「地域開放」、「関連施設」、「臼田らしさ」の7項目について話し合いました。

以下のようにまとめ提言します。

(1) 「安全」

- ① 歩道橋の設置
 - (ア) 通学時の安全確保のために、交通量の多い国道等に歩道橋を設置すべきである。
- ② エレベーターの設置
 - (ア) 障がいのある児童、けがをした時の対応のため、エレベーターを設置すべきである。
- ③ 安全な窓を設置
 - (ア) 児童の落下防止等のため、安全な高さにする等、安全面を優先して窓を設置すべきである。
- ④ 道路の改良・整備
 - (ア) 児童が安全・安心に通学するために道路を改良・整備することが必要である。
 - ・車のスピードをおとさせる対策（段差のある舗装・段差や物があるように見える舗装面の着色等）
 - ・危険箇所にガードレールを設置
 - ・通学路にグリーンベルトを設置
 - ・歩道の確保

- ・バス等のロータリー又は停車場を整備
- ・街灯を増設
- ・新しい道に信号を設置
- ⑤ 校庭や校門が見える位置に職員室を設置
 - (ア) 児童の様子を把握するため、校庭や校門が見える位置に職員室を設置することが必要である。
- ⑥ 防犯カメラの設置
 - (ア) 不審者対策や事故があった時などのために、防犯カメラを設置することが望ましい。
- ⑦ 災害時の避難場所
 - (ア) 災害時の児童の安全のために災害に強いものを建設し、避難場所となった場合の周辺住民のために食料や毛布などを備蓄することが望ましい。
- ⑧ 消防署・警察署へのホットライン
 - (ア) もしもの時に即対応してもらえるよう、消防署・警察署へのホットラインがあることが望ましい。
- ⑨ 消火栓を多数設置
 - (ア) 災害時の対応のため、消火栓（防火水槽）等を多数設置することが望ましい。

(2)「自然」

- ① ビオトープの設置
 - (ア) 自然環境に興味を持ってもらうため、学校敷地内にビオトープを設置することが必要である。
- ② 校門から昇降口までのアプローチ
 - (ア) 景観や防犯のために、校門から昇降口まで開放感あるアプローチを確保することが必要である。
- ③ 花壇の設置
 - (ア) 花の種を植えて育てることを学ぶため、花壇を設置することが必要である。
- ④ 樹木の配置
 - (ア) 四季折々の花々や夏の木陰を利用するため、大きな木（できれば4校の木を移植）や、花の咲く木など、多彩な植栽をすることが望ましい。
- ⑤ 自然景観の活用ができる構造物の設置
 - (ア) 浅間山・八ヶ岳を中心とした360°の自然を常に意識でき、小

学校の記憶を大事にしてこの地に愛着・郷土愛が育まれるような構造物を設置することが望ましい。

⑥ 広いスペースの確保

(ア) 建設地が狭さを感じるため、現在の計画よりも広い土地を確保することが望ましい。

(3) 「設備 (校舎)」

① より良い空調設備の検討・整備

(ア) 環境、コスト、管理等を考慮し、エアコン、ボイラー等、空調設備を検討して整備すべきである。

② 相談室を設置

(ア) 児童の悩みを身近に感じるために、相談室を設置すべきである。

③ バリアフリー

(ア) 施設全てをバリアフリーにすべきである。

④ 資料室 (書庫) の整備

(ア) 4校の歴史資料を保管するため、資料室を整備する必要がある。

⑤ 多くの木材を使用

(ア) 唐松など地元の木材を多く利用して、床や壁はデザイン性を重視することが必要である。

⑥ 職員室、事務室の配置

(ア) 訪問者の確認、不審者の対策のため、職員室、事務室から昇降口と校庭が見えることが必要である。

⑦ 多目的ホール・フリースペース等の整備

(ア) 地域住民との交流に使用できるように畳なども設置した多目的ホールやフリースペース等を整備することが必要である。

⑧ 広い廊下の整備、可動間仕切りの設置

(ア) ワークスペースにもなるため、広い廊下を整備することが必要である。

(イ) 可動間仕切りを設置するなど、施設を最大限に利用できるように工夫することが必要である。

⑨ 佐久の自然を見渡せる教室等を整備

(ア) 臼田の地区が一望でき、地域の名前を覚えたり臼田の町を身近に感じ、故郷を愛する心を養ったり、浅間山と八ヶ岳の雄大さを一度に体験させるため、屋上に展望台を設置することが必要である。

⑩ 太陽熱温水器を利用したプールの整備

(ア) 太陽熱温水器を利用したプールを整備することが必要である。

- ⑪ 図書館を昇降口一体型にするなど図書館の充実
 - (ア) 読書に親しむ児童の増加や、一般の方にも開放できるよう、昇降口一体型の図書館を設置することが望ましい。
 - (イ) 4校の本が持ち込めるような規模の図書館を設置することが望ましい。
 - (ウ) 図書館に本の検索機を導入することが望ましい。
 - ⑫ 異学年の児童が共に活動できる校舎
 - (ア) 異学年の児童が共に活動したり、複数のクラスが授業できるように廊下を広くする等、校舎の造りを工夫することが望ましい。
 - ⑬ 男子トイレの個室化
 - (ア) 大小関係なく、他人の目を気にすることなく用を足すことができるよう、男子トイレを個室化することが望ましい。
- (4) 「設備（屋外）＊体育館含む」
- ① 太陽光発電施設の設置
 - (ア) 太陽光を利用した省エネや、屋上のスペースを利用するために、太陽光発電施設を設置すべきである。
 - ② グラウンドに夜間照明施設の設置
 - (ア) 地域のクラブ活動や災害時に使用するため、夜間照明設備を設置すべきである。
 - ③ 体育館の設備の充実
 - (ア) 明るい体育館にするため、LED照明を設置すべきである。
 - (イ) 温かく静かな体育館にするため、遠赤外線暖房を設置すべきである。
 - (ウ) 音響に配慮した体育館を整備することが望ましい。
 - ④ 利用しやすいグラウンド、中庭の整備
 - (ア) 雨の季節でも使い易くするため水はけが良い、また周辺に迷惑とならないように砂ぼこりがおこりづらいグラウンドを整備すべきである。
 - (イ) 遊びの幅を広げるために平らな部分だけでなく、つきやま、法面等の設置をすることが望ましい。
 - (ウ) ケガをしにくいこと等からグラウンドや中庭の一部に芝生を植えることが望ましい。
 - ⑤ 駐車場、ロータリーの確保
 - (ア) 安全に送迎ができるようにバスロータリーを整備したり、駐車場を充実することが必要である。

- ⑥ 遊具の充実
 - (ア) 遊びながら運動能力を向上させるため、アスレチックなど遊具を充実させることが望ましい。
 - ⑦ 講堂の整備
 - (ア) 地域の方も使えるスペースとして、体育館とは別に講堂を整備することが望ましい。
 - ⑧ 防犯カメラの設置
 - (ア) 防犯対策のために防犯カメラを設置することが望ましい。
 - ⑨ 学校の周辺整備
 - (ア) バス通学が多くなるため、学校の周辺をマラソンコースにするとかクロスカントリーができるようにするなど、児童の体を鍛えるための施設を整備することが望ましい。
- (5) 「地域開放」
- ① 災害時に避難場所となる施設
 - (ア) 災害時に避難場所として利用できるような施設になるように整備すべきである。
 - (イ) 災害時に使用できる独立した火種としてプロパンガス等を設置することが望ましい。
 - ② コミュニティスペースの整備
 - (ア) 地域の皆さん等も利用することができる多目的ホール等、コミュニティスペースを整備すべきである。
 - (イ) 誰でも気軽に立ち寄れる散歩コースを整備することが望ましい。
 - ③ 図書館を地域に開放
 - (ア) 地域の人に開放し、入り易く利用してもらうため、昇降口近くに図書館を整備する必要がある。
 - ④ ギャラリーを整備
 - (ア) 地域住民の作品を展示できるスペースを設置することが望ましい。
- (6) 「関連施設 *給食センター含む」
- ① 給食センターの整備
 - (ア) 給食を作る様子を見ることができ、食育につながるように、また、温かい給食を児童に提供できるように、給食センターを併設または校内に設置すべきである。
 - ② 児童館の整備
 - (ア) 既存の4つの児童館を残して、新たに新小学校に併設して児童館

を整備すべきである。

(イ) 地域のボランティアも交流できるような児童館が整備されることが望ましい。

③ 田畑の借用

(ア) 食育、郷土の特産物の学習、自給自足の学習、農業の楽しさ等を学ぶため、田畑を借り上げて農業体験、自然体験をすることが必要である。

④ 安全施設の整備

(ア) 巻き込み事故を防ぐため、交差点等にラバーポールを設置することが必要である。

(イ) 緊急時に対応するため、交番を設置することが望ましい。

(ウ) コスモホールへの往来をしやすくするために、安全な歩道（屋根付きであればなお良い）を整備することが望ましい。

⑤ 擁壁に展示できるような造作

(ア) 地域に親しみやすくする等のために、盛土で設置する擁壁を作品展示スペースとすることが望ましい。

(7) 「臼田らしさ」

① 地元産木材の使用

(ア) 自然豊かな町なので、地元産木材を使用すべきである。

② 星の町に関する整備

(ア) 臼田らしさをアピールするため、多目的室等の壁面に大きな星座のステンドグラスを設置することが望ましい。

(イ) スタードームと一緒に星の学習をするため、天体望遠鏡を設置することが望ましい。

(ウ) 通学に飽きることなく、星座を学ぶことができるため、通学路に星座の名前をつけ、星をモチーフとしたイラストや装飾を施すことが望ましい。

(エ) 星の町を全国的にアピールするため、クラス名を星座にすることが望ましい。

(オ) 臼田らしい特徴のある名称にすることで全国的にアピールできるため、星の町にちなんだ学校名とし、校章も星形とすることが望ましい。

③ 五稜郭・4小学校を示す施設を整備

(ア) 臼田の町のアピール等のため、敷地に臼田のシンボルである五稜郭をかたどったものを造ることが望ましい。

- (イ) 中庭に五稜郭をかたどったインターロッキングを設置することが望ましい。
- (ウ) 中庭に4小学校の校章をかたどったものを設置することが望ましい。

むすびに

ここに示した提言は、ワークショップ参加者の想いの結集です。

これからの佐久市の将来を担う子どもたちの健やかな成長が期待できる環境を整えるため、基本計画には、「学校施設」に加え、「学校運営」についても是非盛り込んでいただき、他に例のない、皆に誇れる計画が策定されることを切望します。

この提言により、「学校づくり」ワークショップは一区切りとなりますが、私たちワークショップ参加者は、新小学校開校まで経過を見守り続けて参ります。そして、開校後は、新小学校が夢と希望をもって、地域とともに歩み続けることを期待します。

提言書起草委員

嶋崎匡	田嶋綾子	土谷豊	日向健二	日向大亮
日向俊明	堀田高昭	山下あかね	(五十音順・敬称略)	

ワークショップ参加者

青柳敏孝	井澤直行	井出静男	井出亮	井出梨恵
今井和明	大塚正志	大野田善之	岡本裕司	金子空美子
川村昌也	菊池陽子	小林典子	小林真人	櫻井武
篠原智子	志摩聖子	志摩優	清水真旗	大工原正一
大工原一	高橋秀子	竹内正明	谷口裕久	田原實夫
千野正之	土屋敦	土屋薫	伴野剛志	仲沢文夫
日向将	布施明人	堀川辰二	本田隆博	松井優樹
三石晃久	三石幹	宮澤賢一郎	柳沢賢治	山浦義成
油井英次	横山稔	渡辺高志	(五十音順・敬称略)	